

看護師のクリニカルラダー レベル I

<p>定義: 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する</p>	
ニーズをとらえる力	<p>◆到達目標; 助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる</p> <p>【行動目標】 情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ①助言を受けながら情報収集の基本的な技術が実践できる(患者のニーズを身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から把握) ②日常ケアに必要な基本的知識(バイタルサイン、検査値などの正常値、自部署の代表的な疾患の病態生理、治療)を理解し活用できる ③助言を受けながら緊急度に応じた観察・情報収集ができる <p>アセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ①助言を受けながら情報分析ができる <p>計画立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①助言を受けながら実践可能な看護計画の立案ができる
	<p>◆到達目標; 助言を得ながら、安全な看護を実践する</p> <p>【行動目標】 実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ①指導を受けながら計画に沿った基礎看護技術を実践し、自分の行為を振り返ることができる ②指導を受けながら実践した看護の内容、患者の反応を報告できる ③指導を受けながら看護記録の基準に沿って記録できる ④看護手順に沿って看護技術が安全・確実に実践できる ⑤指導を受けながら複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動できる ⑥指導を受けながら物品を適切に使用できる ⑦指導を受けながら受け持ち患者の看護計画の評価ができる ⑧指導を受けながら受け持ち患者の看護サマリーを記載することができる ⑨指導を受けながら決められた業務を時間内に引き継ぐことができる
	<p>◆到達目標; 関係者と情報共有ができる</p> <p>【行動目標】 人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ①挨拶を励行できる ②丁寧な対応ができる ③その場に応じて自分の考えを述べることができる ④業務上の報告・連絡・相談を指導を受けながら適切に実施できる ⑤同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとることができる <p>組織人として</p> <ul style="list-style-type: none"> ①病院・看護部の理念や目標、所属部署の目標が理解できる ②所属部署の目標達成のための活動ができる ③組織の一員としての自覚を持ち責任ある行動ができる ④チームメンバーとしての役割を理解できる ⑤指導を得ながら関連各部門・多職種と連携できる <p>安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医療安全・感染予防・防災マニュアルを見て、指導を受けながら行動できる ②自己の能力を超えた看護処置が求められた場合、チームに相談できる ③ヒヤリ・ハット事例や事故報告の必要性がわかり速やかに報告できる <p>自己管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①時間を守り行動することができる ②看護部門や所属部署の教育計画にそって学習できる ③指導を受けながら自分の学習課題を明確にできる ④日常の看護実践の中で不足な点を学習できる ⑤助言を得ながら個人目標を達成することができる ⑥看護研究・業務改善の意義と目的を理解できる ⑦所属部署の業務改善や研究活動を理解している ⑧院内・外の看護研究発表会、業務改善発表会に積極的に参加できる
意思決定を支える力	<p>◆到達目標; ケアの受けてや周囲の人々の意向を知る</p> <p>【行動目標】 倫理的配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ①助言を受けながら守秘義務を遵守しプライバシーに配慮することができる ②助言を受けながら患者・家族の希望をリーダー看護師に伝えることができる ③患者・家族に寄り添うことができる ④患者・家族の思いや考え、希望を多職種と共有できる

看護師のクリニカルラダー レベルⅡ

定義: 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	
ニーズをとらえる力	◆到達目標; ケアの受けてや状況(場)のニーズを自らとらえる
	【行動目標】 情報収集
	①自立して患者に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ②診療記録上の情報を活用できる
ケアする力	アセスメント
	①得られた情報をもとに、患者の全体像としての課題をとらえることができる
	①受け持ち患者の看護計画の立案・評価・追加・修正ができる
協働する力	◆到達目標; ケアの受けてや状況(場)に応じた看護を実践する
	【行動目標】 実践
	①自分の責任を明確にするために、患者に担当であることを伝えることができる ②ケアを行う場合には患者の状態を把握し、必要に応じて時間調整や疼痛コントロールなどに配慮できる ③患者の個別性を考慮しつつ、看護計画に基づきケアを実践し、報告できる ④看護手順に基づいて、安全・確実に看護技術が実践できる ⑤患者急変時、指示されたケアを責任を持って実践できる ⑥実践した看護の内容、患者の反応が記録できる ⑦自分の行為を振り返ることができる ⑧看護計画の評価ができる ⑨看護サマリーが記録できる ⑩決められた業務を時間内に引き継ぐことができる
意思決定を支える力	◆到達目標; 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる
	【行動目標】 人間関係
	①患者に関わる多職種の役割を理解し、必要に応じて情報交換できる ②患者の疾患の現状、検査結果、治療方針を主治医と確認し、必要時は患者の訴えや思いを伝えることができる ③カンファレンスに参加し、患者の思いや希望等の必要な情報を関係者と共有できる
意思決定を支える力	組織人として
	①病院・看護部の理念や目標、所属部署の目標を理解し、説明できる ②自分の立場や役割を理解し、チームの一員としてチーム活動に参加できる ③指導を受けながら日々のリーダー業務ができる ④部署内の問題に気づき改善に向けて自分の意見を述べるができる ⑤経済性を意識した器械、器具、薬剤、物品の管理ができる
	安全管理
意思決定を支える力	自己管理
	①自分の学習課題を見出し学習計画を設定できる ②与えられた課題の達成に取り組み具体的な行動目標を設定し実践できる ③自己の役割や課題を明確にし、自己啓発ができる ④業務改善、看護研究に協力できる ⑤院内・外の研修に参加し、課題を見出すことができる
	◆到達目標; ケアの受けてや周囲の人々の意向を看護に活かすことができる
意思決定を支える力	【行動目標】 倫理的配慮
	①守秘義務を遵守し、プライバシーに配慮した実践ができる ②患者を一個人として尊重し受容的・共感的態度で接することができる ③患者や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる ④患者・家族に実施しようとする行為について説明を行い同意を得て実践できる ⑤説明に対する患者や周囲の人々の認識と医療者の認識とのずれに気づき、追加の説明等調整できる

看護師のクリニカルラダー レベルⅢ

定義: ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	
ニーズをとらえる力	<p>◆到達目標: ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる</p> <p>【行動目標】</p> <p>情報収集 ①患者に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる ②入院生活や退院調整に必要な情報を得ることができる</p> <p>アセスメント ①収集した情報から顕在する看護上の問題を明確にできる ②正確なフィジカルアセスメントができ、体内で起こっている現象を考慮することができる ③標準的な経過をたどる患者の、潜在する看護上の問題を明確にできる ④看護上の問題の優先度が明確にできる</p> <p>計画立案 ①標準的な経過をたどる患者の、看護計画の立案・評価・追加・修正ができる ②標準的な計画だけではなく、患者の状況から予測性を持った看護計画が立案できる</p>
	<p>◆到達目標: ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護実践をする</p> <p>【行動目標】</p> <p>実践 ①患者の思いや価値観を理解した看護ができる ②選択できるケア方法をいくつかもち、工夫して実践できる ③受け持ち患者・家族に指導する場合、生活習慣や価値観、希望などを考慮して説明することができる ④看護計画に沿った実践ができる ⑤優先度を判断して患者にあった個別的な看護が安全・安楽に実践できる ⑥複数の患者の優先順位を判断し、ケアを実践できる ⑦患者急変時、落ち着いて行動でき、家族等に配慮することができる ⑧自分の看護実践を評価し、自己の課題を見出し次につなげることができる</p>
	<p>◆到達目標: ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる</p> <p>【行動目標】</p> <p>人間関係 ①患者・家族との信頼関係を築くことができる ②患者の現在ある状況をとらえ、必要な職種に協力を求めることができる ③定期的なカンファレンスだけではなく、必要なタイミングを見極めてカンファレンスを開催できる ④後輩や同僚からの相談を受けることができる</p> <p>組織人として ①部署内の問題に気づき改善に向けて協力できる ②経済性を意識した器械、器具、薬剤、物品の管理ができる ③診療報酬など医療情勢に関心がもてる</p> <p>安全管理 ①医療安全・感染予防・防災マニュアルを理解し、行動できる ②所属部署の特殊性から起こり得るアクシデントを予測し安全対策が実施できる ③インシデント・アクシデントの分析結果に基づいて所属部署の業務改善に取り組むことができる ④マニュアルの見直し、変更に積極的に参加できる</p> <p>自己管理 ①教育プログラムに積極的に参加し、学習したことを実践に生かすことができる ②部署の勉強会を企画・運営することができる ③後輩の能力を生かすことができるように支援できる ④部署の問題解決に向けて、同僚と共に行動することができる ⑤先行研究の活用や研究的視点で看護業務をとらえることができる ⑥自分の目指す方向性を意識して継続的に院内・外の研修・学会に積極的に参加し、同僚に学びを伝達できる</p>
意思決定を支える力	<p>◆到達目標: ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる</p> <p>【行動目標】</p> <p>倫理的配慮 ①患者や家族の意思決定に必要な情報を提供できる ②患者や家族の意向の違いが理解でき、多職種に代弁できる ③患者と家族が持つそれぞれの思いや価値観に寄り添うことができる ④患者の訴えを思い込みで判断せず、言葉の裏にある意味を理解できる</p>

看護師のクリニカルラダー レベルⅣ

定義：幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	
ニーズをとらえる力	◆到達目標：ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる
	【行動目標】
	<p>情報収集 ①予測的な状況判断のもと、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ②意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる</p> <p>アセスメント ①現に表れている患者の症状や状況に対し、潜在する原因を想定して看護上の問題を明確にできる ②多職種に相談が必要な問題かどうか判断できる</p> <p>計画立案 ①患者の状況変化を多面的視点から予測し、看護計画の立案・評価・修正ができる ②社会資源の活用について提案できる</p>
ケアする力	◆到達目標：様々な技術を選択・応用し看護を実践する
	【行動目標】
実践	①患者の状態に合わせて、持っている知識・技術の中から適切なケアが実践できる ②幅広い視野で患者をとらえ、起こりうる課題に対して予測的・予防的に看護実践できる ③根拠に基づいてスタッフ指導・患者指導ができる ④倫理的視点に立って支援ができる ⑤患者急変時に今後の展開を予測した対応ができ、家族等へも予測性を持った提案ができる ⑥患者のニーズを充足することができる ⑦自分の行為を客観的に分析・評価し、行動変容していくことができる
協働する力	◆到達目標：ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し、連携できる
	【行動目標】
	人間関係 ①患者・家族の人間性を尊重し人間関係を調整ができる ②リーダーとしてスタッフの立場や人間性を尊重しながら人間関係を調整できる ③カンファレンスの場面で、効果的な運用を推進できる ④後輩から仕事上の疑問や悩みの相談を受け支援できる ⑤多職種との連携において、調整役ができる
	組織人として ①部署の目標達成に向けて主体的に行動できる ②看護業務における調整機能が発揮できる ③看護部内の委員会に部署の代表として参加し意見を述べることができる ④多職種との連携・調整ができる ⑤患者に必要な社会資源を活用するための調整ができる ⑥安全性・経済性を考えて物品管理や改善へ取り組むことができる
	安全管理 ①医療安全・感染予防・防災マニュアルを理解しており、看護部門のリーダーシップを取りながら活動できる ②マニュアルの整備の推進役ができる
自己管理 ①専門領域に関する研修を自ら探して積極的に参加し、スタッフに伝達できる ②研究的視点を通して業務改善を推進できる ③看護研究の視点で業務を客観的に分析できる ④部署の問題をアセスメントし、改善に向け同僚を巻き込んで意図的・継続的に関わることができる	
意思決定を支える力	◆到達目標：ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる
	【行動目標】
倫理的配慮 ①患者・家族の意思決定プロセスが促進されるように関わることができる ②患者・家族・医療スタッフ等の意向が異なる場合において、原因を探求し、カンファレンス等を開催し調整することができる ③複雑な意思決定場面において、患者と家族の思いを尊重し、寄り添い続けることができる	

看護師のクリニカルラダー レベルV	
定義:より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	
ニーズをとらえる力	◆到達目標;ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる
	【行動目標】
	<p>情報収集 ①複雑な状況を把握し、患者を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる ②問題の領域に焦点をしばり選択的に情報収集ができる</p> <p>アセスメント ①疾患の予後と治療による影響や退院後の生活を予測したうえで、患者を取り巻く多様な情報を多角的な側面からアセスメントし、介入の必要性を判断できる ②アセスメントの過程や根拠を多職種に説明できる ③患者・家族のニーズに対して不足している機能に気づき、アセスメントできる</p> <p>計画立案 ①複雑なニーズを持つ患者の看護計画の立案・評価・修正ができる</p>
ケアする力	◆到達目標;最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	【行動目標】
	<p>実践 ①複雑なニーズを持つ患者の看護実践をするために多様なアプローチができる ②創造性を発揮した看護実践ができる ③患者急変時には複雑な病態の患者においても原因や今後の展開を予測しながら、患者および家族への対応とこれから起こりうるであろう状況に対応できる ④倫理的視点に立って、コミュニケーション力を発揮し倫理調整できる ⑤創造性を持って意図的な実践を重ね、自己研鑽を続けることができる ⑥患者の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見を用い、患者の尊厳・QOLや生活の可能性を広げるケアを考え実践できる ⑦患者の変化を敏感に感じ取り、リスクを最小限にとどめることができる ⑧自分の行為を分析・評価し、さらなる看護および医療の質向上に役立てることができる ⑨同僚を含む医療従事者から信頼感を得ることができる</p>
協働する力	◆到達目標;ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
	【行動目標】
	<p>人間関係 ①患者・家族との相互関係を深めることができる ②医療チーム間の相互関係を深めることができる ③職場風土を向上させるための効果的なスタッフへの関わりができる</p> <p>組織人として ①関連する部門と連携し、多職種が役割を効果的に発揮できるよう調整的役割を担うことができる ②緊急時、状況を判断しリーダーシップをとることができる ③病院の委員会に看護部の代表として参加し、意見を述べるができる ④組織改革に向け、関係者・多職種間の中心的役割を担うことができる ⑤診療報酬などの社会制度を理解し、医療情勢に関心を持ち病院の経営方針に協力できる</p> <p>安全管理 ①安全な医療(医療安全・感染防止)を提供するための体制構築に向けて提言できる ②安全な医療(医療安全・感染防止)を提供するための問題に取り組むことができる</p> <p>自己管理 ①専門誌等の購読や活用により、実践能力の維持向上に努めることができる ②専門領域の研修会・学会等に参加し、自分の能力の開発に務めることができる ③看護部門の問題解決に向けてリーダーシップが発揮できる ④病院組織の改善に向け組織的に取り組み教育企画・運営に参画できる ⑤有用な研究結果を臨床に還元できる ⑥看護研究の指導的役割を果たすことができる</p>
意思決定を支える力	◆到達目標;複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
	【行動目標】
	<p>倫理的配慮 ①患者・家族の意思決定プロセスが促進されるよう、リーダーシップを発揮して多職種間での意見を倫理的側面から調整できる ②適切な資源を積極的に活用し、患者や家族の意思決定プロセスを支援できる ③法的小および文化的な配慮など、多方面から患者や家族・周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる</p>